

# みなまたびょう こどもと学ぶ水俣病

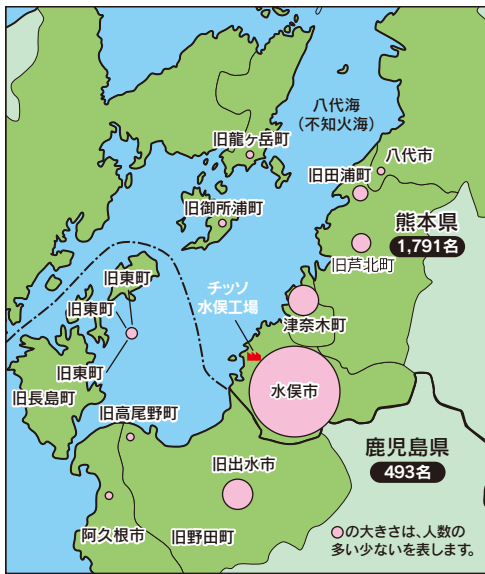
## みなまたびょう 水俣病のポイント学習



### 1 みなまたびょう はっせい しらぬい かい 水俣病が発生した不知火海

【水俣病が発生した不知火海は、どう変わってきたの?】

水俣病認定患者の発生分布（2023年3月末日現在）

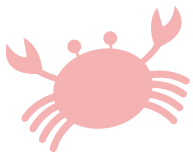


【水俣病認定患者の発生分布図】

水俣病が発生した不知火海は、昔は豊かな海でした。特に水俣湾は魚の産卵場所であったことから、獲っても魚がたくさんわいてくる海、「魚わく海」といわれていました。海辺では、人々は漁をしながらおだやかな生活をおくっていました。

しかし、チッソ工場が水俣湾に流した水銀を含む有害な工場排水によって、海にすむ魚たちは水銀に汚染されました。それを知らずに魚を食べていた人たちは、しだいに体調が悪くなり、水俣の海岸周辺を中心とした地域に水俣病患者が多く発生し、それまで平和だった生活はいっぺんにうばわれてしまいました。

今は、水銀に汚染された魚は処分され、水俣湾の海底にたまった水銀を含んだヘドロを取り除いて埋め立てる工事も終わり、水俣湾はきれいな海になりました。漁も再開されて、安心して魚を釣って食べたり、泳いだりできるようになり、水の透明度や汚れの度合いでくらべても、熊本県のなかできれいな海のひとつに数えられています。



今の水俣湾には  
19種類のサンゴがいること  
がわかっているんだ。

### 2 水俣とチッソとのかかわり

【水俣病を起こしたチッソ工場ができて、  
水俣のまちはどう変わったの?】

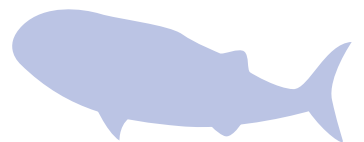
1908年（明治41）、チッソ工場が水俣にできました。チッソは化学肥料の生産を始め、やがて日本の主要な化学工場となり、戦後の日本の経済成長を支える企業の一つとなりました。

工場の発展は水俣のまちの発展でもありました。村だった水俣は人口も増えて工業都市となっていきました。

工場で働く市民もたくさんいて、経済的にも社会的にもチッソの影響を強く受けていました。

今でも、水俣市のなかではチッソ工場は大きな会社なんだよ。

チッソは水俣病を起こした原因企業として責任をはたさないとはいけなかった。患者さんへの補償金の支払いを続けるためにも、環境にやさしい企業として、これからもがんばっていくことがのぞまれているんだ。



### 3 海や生き物たちに現われた異変

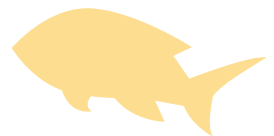
【チッソ工場が工場排水を海にたれ流して、海に住む生き物とかはどうなったの？】

チッソ工場では、1932年(昭和7)からプラスチックなどの原料になるアセトアルデヒドの生産を始めました。そのアセトアルデヒドを作るときに、強い毒性をもつメチル水銀が発生し、工場排水に混じって海に流れ、魚や貝を汚染していきました。

チッソ工場での生産量が増えるにつれ、海の汚染がすすみ、1950年代前半(昭和20年代後半)から、魚が海面に浮いたり、貝が死んだり、海藻が育たなくなったりするようになりました。とくに、工場排水が流された水俣湾は汚染がひどく、たくさんの水銀を含んだヘドロが海の底にたまるようになりました。

また、不知火海の海岸近くでは、魚を食べたネコが踊るように飛びはねたりした末に死んでしまったり、鳥が飛べなくなって空から落ちてくるなどの異変がみられるようになりました。えさに魚を混ぜてあたえていた家では、ニワトリやブタなどの家畜もネコと同じようになって死んでしまうこともありました。

人間が病気になる前に、小さな生き物たちに  
まず異変が起きていたんだね。



### 4 水俣病の発見と差別

【水俣病になった患者さんたちのくらしはどうだったの？】

1956年(昭和31)、人間にも原因不明の病気が発生していることが初めて確認されました。原因がわからないため、病院ではどんな治療をすればいいかもわからず、患者さんは満足な治療を受けることもできずに苦しみながら死んでいきました。

水俣病が発生した当初は、原因がわからずうつる病気とまちがわれ、患者さんの家を消毒したり、病院でも患者さんを隔離したりしたので、病気がうつると思われたり、奇病と言われたりして、まわりの人からいじめを受けたり差別をされるなど、大変つらい思いをしました。

病気の原因として魚が疑われるようになってから魚をとっても売れなくなってしまったり、働き手が病気で倒れたりして日々の収入がなくなり、そのうえ病院にお金がかかったりして、患者さんやその家族の生活はとても苦しくなりました。

水俣病の原因があきらかになり、うつる病気ではないとわかってからも、チッソの影響を強く受けていた水俣では、患者さんをうとましく思う雰囲気があり、患者さんを取りまく環境はつらいものでした。同じ市民でありながら、患者さんとそのほかの市民との対話はとだえ、地域社会のつながりまで壊れてしまいました。

また、患者さんだけでなく水俣市民がよその人から差別されることがありました。それは、水俣病が空気や食べ物でうつったり、遺伝したりすると思われたり、水俣地方特有の病気(風土病)とまちがわれたりしたためです。水俣出身だということで就職や結婚をことわられたり、水俣を通るときは電車やバスの窓を閉めたりするなどの差別を受けることもありました。そのため、市民が水俣出身と胸をはって言えないことも多かったのです。

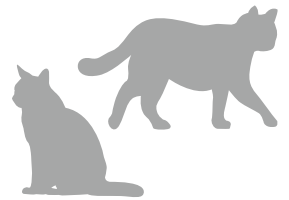
## 5 病気の原因を調べるためのネコ実験

【水俣病の原因は、どんな方法で調べられたの？】

きちんと歩いたり話したりできないなどの原因がわからない患者がたくさん発生していることがわかってきたため、水俣市や熊本県から依頼を受けた熊本大学の医学部では原因を調べることにになりました。患者を診察したり、飲み水や土などを調べたりした結果、この病気は伝染病ではなく、何かの中毒症であり水俣湾でとれた魚や貝などを食べて起こることがわかりました。

水俣湾やその周辺ではたくさんのネコが病気になって死んでしまったりしていたので、1956年(昭和31)から熊本大学や水俣保健所で、水俣湾の魚や貝をネコに食べさせ、同じような病気になるかどうかを調べる実験を始めました。その実験の結果、1957年(昭和32)に、水俣の漁村で水俣病にかかったネコと同じ症状になることがわかりました。このネコ実験は病気の原因を探るのに大きな役割をはたし、同年、熊本県は水俣湾の魚をとったり食べたりしないようよびかけをしました。

いっぽうで、1959年(昭和34)には、チッソ工場の附属病院では、工場の排水をネコにあたえると水俣病になることが実験でわかっていましたが、チッソはそのことを隠して1968年(昭和43)まで有害な工場排水を流し続けていました。



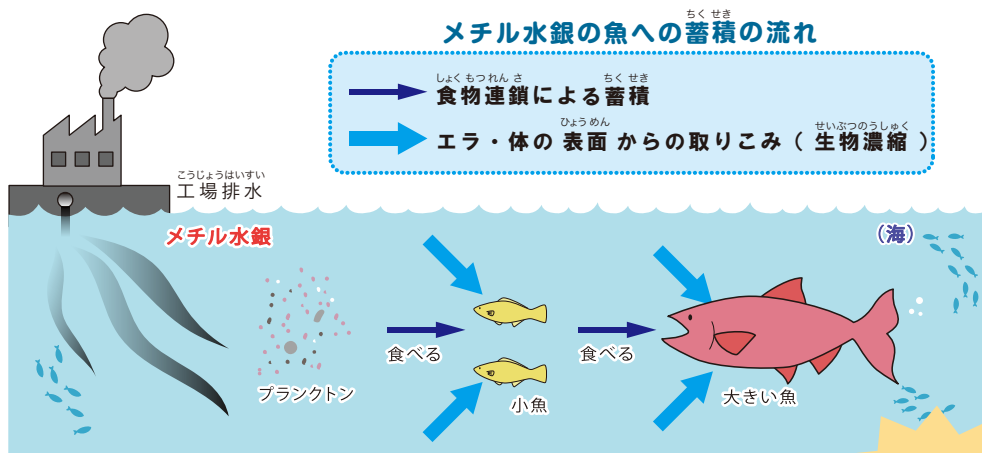
## 6 工場排水による魚の汚染

【水俣の魚は、どのようにして汚染されていったの？】

工場排水に混じって海に流されたメチル水銀は、プランクトンや魚の体内に、エラや体の表面から取りこまれ、蓄積していきました。

また、メチル水銀の入ったプランクトンを小さな魚が食べ、その魚をもっと大きな魚が食べ、それをもっと大きな魚が食べ、大きな魚になるほどたくさんのメチル水銀が体内にたまっていきました。(※生き物の食べる・食べられるの関係を食物連鎖といいます。魚の体内にメチル水銀がたまっていったように、食物連鎖を通して化学物質が生き物の体の中でより濃くなることを、生物濃縮といいます。)

水俣湾やその周辺では、見た目にはわからなくても高い濃度で汚染された魚がいました。汚染されているとは知らず毎日たくさんの魚を食べ続けて、ついには人間が水俣病になりました。



魚にメチル水銀が取りこまれる様子

大きい魚ほど  
高い濃度で  
汚染されていく

# 7 汚染された魚をとおしての水銀中毒（水俣病の発生）

## 【なぜ水俣病になったの？】

当時は今みたいに食べ物が豊富ではなく、とくに、平地が少ない海岸周辺では稲作があまりできませんでした。そのため米よりも海でとってきた魚のほうが身近な食料で、海のそばの集落では、栄養の豊富な魚は生活にかかせないものでした。

とくに漁村では、汚染されているとは知らずに、海でとってきた新鮮な魚や貝などを毎日たくさん食べていたので、メチル水銀が体の中にだんだんたまっていき、水俣病患者が多く発生しました。水俣病はメチル水銀による中毒症なので、他の人にはうつりません。また、遺伝することもないとされています。

水俣病には、汚染された魚を食べて病気になった水俣病（こどものときに病気になった場合は小児性水俣病といいます）と、お母さんのおなかの中で赤ちゃんがメチル水銀の被害を受け、水俣病の症状をもって生まれてくる胎児性水俣病があります。

水銀が入っていると知らずに魚を食べ、水俣病になった

## 当時の水俣湾にいた魚などの例



# 8 水俣病の症状

## 【水俣病になったら、どんな症状になるの？】

汚染された魚を食べ続けると、体の中にメチル水銀がだんだんたまっていきます。そして、メチル水銀中毒になったのが水俣病です。

魚に入っていたメチル水銀は、体内のいろいろなところに運ばれ、とくに脳などに運ばれたメチル水銀は、脳や神経細胞に障害をあたえ、右の表のようないろいろな症状をひきおこします。水俣病が発生した初めのころには、症状が重く、激しいけいれんを起こしたり、意識を失ったりして発病からわずか数十日で死んでしまう患者さんもいました。

また、体の中のメチル水銀は、おしっこやかみの毛、つめなどにまじって体の外に少しずつ出ていきますが、体の中のメチル水銀がなくなっても、一度破壊されてしまった脳の細胞を元にもどすことは難しいため、水俣病を治す治療法はないといわれています。患者さんたちは痛みをやわらげるためのはり・きゅうや薬などにたよるしかありません。

※水俣病の症状やその程度には個人差がある。

### 主な症状

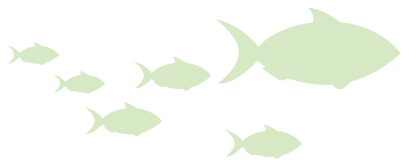
- ・手足がしびれる
- ・痛みを感じにくい
- ・熱い物や冷たい物にさわっても感じにくい
- ・動きがぎこちなくなる
- ・言葉がはっきりしない
- ・相手の言うことが聞き取りにくい
- ・目に見えるはんいがせまくなる
- ・頭痛
- ・においや味が分かりにくい
- ・つかれやすい

## 9 胎児性水俣病とは

【水俣病のまま生まれてきた赤ちゃんは、どんな症状が出てくるの？】

お母さんのおなかのなかにいる赤ちゃんが水俣病になって生まれてきた場合を、胎児性水俣病といいます。汚染された魚を直接食べていなくても、妊娠中にお母さんが汚染された魚をたくさん食べると、メチル水銀がへその緒を通じて赤ちゃんの体内に入り、赤ちゃんが水俣病になって生まれてくることがありました。ですから、親からの遺伝によって子どもが水俣病になるわけではありません。

胎児性水俣病の患者さんはお母さんのおなかの中にいるときにメチル水銀によって障害をうけたため、脳がうまく発育しなかったり、脳の神経細胞が破壊されたりして、症状の重い人の多くは、幼いうちに亡くなったりしました。



みんなといっしょに遊んだり、学校に行ったりすることもできないまま、死んでしまった子どもたちがいたんだね。

## 10 患者補償をめぐるのチツソとの交渉

【チツソにきちんとしたつぐないをさせるまで、患者さんたちはどんな交渉をしてきたの？】

国は、水俣病が発見されてから12年たった1968年(昭和43)、「水俣病はチツソ工場の排水に含まれるメチル水銀が原因で起きた」とようやく認め、これを発表しました。

これを受けて、患者さんやその家族はチツソに補償を求めましたが、交渉はなかなか進みませんでした。そこで、1969年(昭和44)、患者やその家族はチツソを裁判所にうったえ、1973年(昭和48)に患者側のうったえを認める判決がだされました(水俣病第一次訴訟)。

日本の法律では、環境を汚した人がその費用を払うことになっているので、その後、水俣病と認められた人に対して、チツソがきちんと補償をすることになりました。

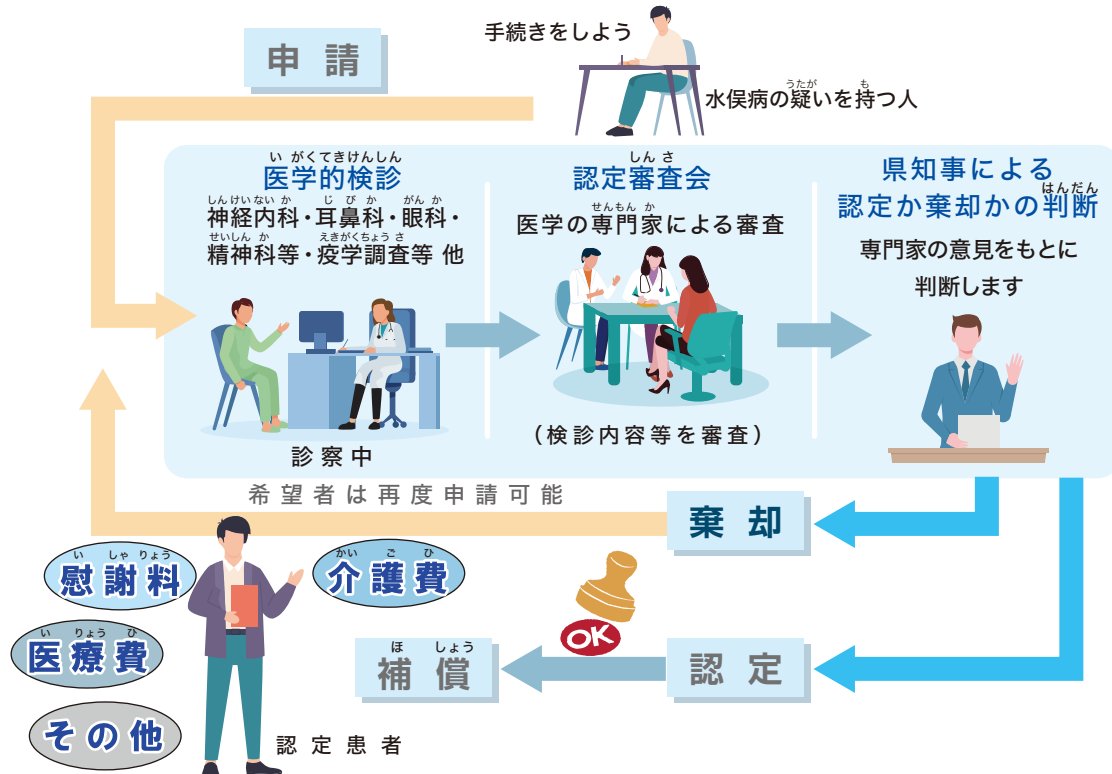
しかし、申請をしても水俣病と認められない人たちが、認定や補償を求めて、国や県やチツソと直接交渉をしたり、国や県の責任を追及する裁判が起こるなど、その後も長い間争いが続いています。

## 11 被害者への補償・救済

【水俣病はどのようにして認定され、認定されたらどんな補償が受けられるの？】

自分が水俣病かもしれないと思う人が、熊本県か鹿児島県に水俣病と認めてほしいという申請をすると、水俣病と認めるか、認めないかの判断がなされます。水俣病と認定された人には、原因企業であるチツソから慰謝料や医療費、そのほかいろいろな手当などが支払われ、医療と生活の補償が行われています。

# 水俣病の認定申請から処分（認定・棄却）まで



## 【認定されなかった人たちが救済を願ってやってきた長い交渉は、その後どうなったの？】

水俣病の発生から長い年月がすぎ、救済をうたえる被害者の人たちも高齢化し、亡くなる人が多くなっていきました。そこで、裁判所は、このままでは解決するまで時間がかかるので、裁判をやめてお互いに話し合うようにすすめました。

生きてうちに救済してほしいという被害者の声も高まり、1995年(平成7)に関係者の間で話し合いをすすめ、政府の解決策がまとまりました。

この解決策への合意にもとづき、水俣病とは認められないものの、水俣病が発生した当時に水俣病が発生した地域に住んでいて、水俣湾やその周辺でとれた魚をたくさん食べ、両手両足の感覚がにぶくなるという症状がある人に、チツソからの一時金260万円が支払われ、行政から医療費などが補助されています。

【救済対象者数11,540人…1997年(平成9)8月1日現在の最終確定人数】

※救済対象者数とは、生存者と死亡者を合わせた人数

『国や県の責任をはっきりさせ、心からあやまってほしい』『水俣病ときちんと認めて救済してほしい』と長年願ってきた被害者の人たちにとって、この政府解決策は本当に願っていた救済のかたちではありませんでしたが、政府解決策が出された当時は、このまま争いを続けていはいつ救済を受けられるか見通しもたない状況でした。そこで、とても苦しい決断でしたが、ほとんどの患者団体は裁判や交渉をやめ、政府の解決策に同意することにしました。

多くの被害者はこの政府解決策に同意して、ほとんどの裁判が取り下げられました。しかし、いっばうで水俣から関西にうつり住んだ被害者たちは、国や県が工場排水を止めなかったために被害が拡大したとして、国や県の責任を追及して裁判を続けていました。

そして、2004年(平成16)10月15日、国や県は工場排水の規制をするべきだったのにそれをしなかったとして、初めて最高裁判所の判決で国や県の責任が認められました。

2009年(平成21)に「水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法」が作られ、今までの法律よりも広く被害を認めています。チツソの主張を受け、チツソの経営のことを考えて、チツソは「製品を作る会社」と「患者さん等の被害者に補償をする会社」の2つに分けられることになりました。

2010年(平成22)には、被害者に支払うお金の額など救済策の具体的な内容が決まり、申請期限の2012年(平成24)7月までに、熊本県・鹿児島県の両県で45,933人もの人たちが救済の申請を行いました。2014年(平成26)8月には、申請者の約8割に当たる36,361人が救済の対象として認められています。

しかし、認められなかった人たちの中には、救済を求めて新たに裁判を起こした人たちもいます。当時の環境大臣も「これで救済の終了だとは考えていない」「水俣病は終わっていない」との談話を発表しています。

2026年(令和8)年5月には水俣病公式確認から70年を迎えますが、水俣病問題はまだ終わっていません。

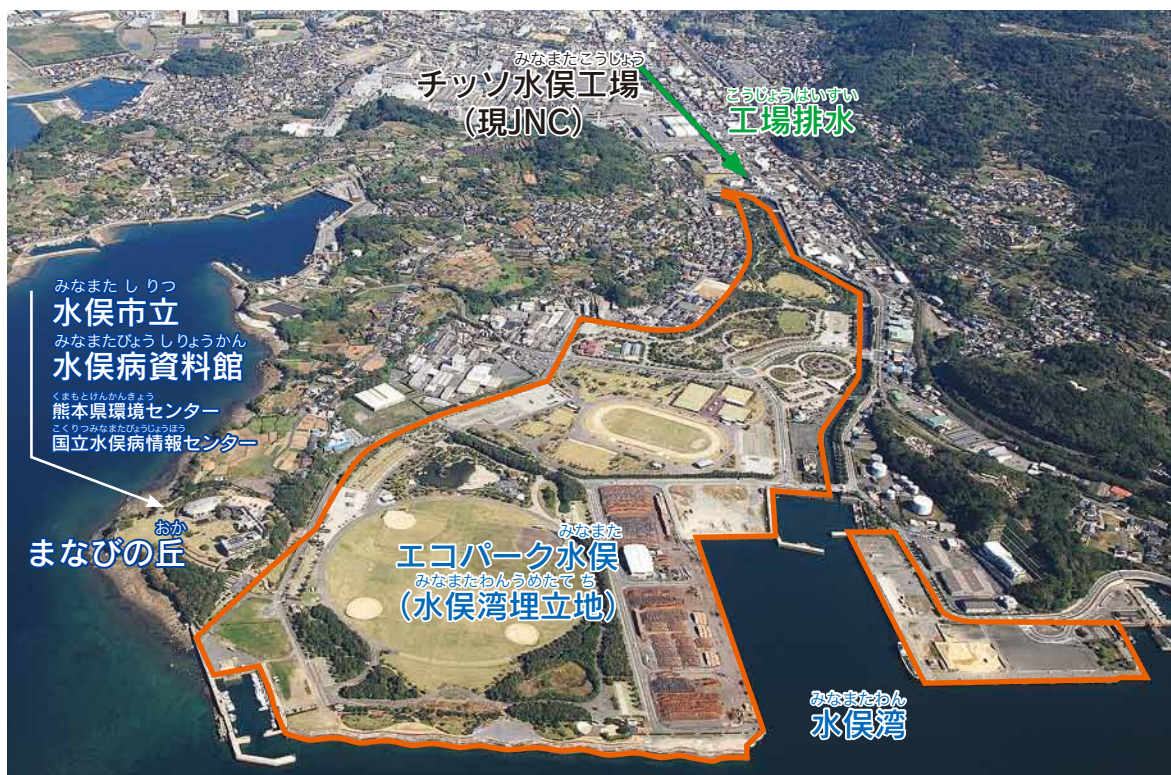
## 12 水銀に汚染された魚の処分と水俣湾埋立工事

【水銀に汚染された水俣の魚や海は、どうなったの？】

チツソ工場は1932年(昭和7)から1968年(昭和43)までの36年もの間、水銀を含んだ排水を流していました。その間、工場排水に混じって水俣湾に流れてしまった水銀の量は70～150トン、またはそれ以上ともいわれ、水俣湾には水銀を含んだ大量のヘドロが海底にたまり、水銀に汚染された魚がいました。

熊本県は1974年(昭和49)に、水俣湾内から汚染された魚が出て行かないように仕切網を設置して、汚染された魚を取り除く作業を始めました。その後、1997年(平成9)に仕切網を取りはらうまでの23年間に、487トンもの魚をとって、処分しました。

また、水俣湾の海底にたまった水銀を含んだヘドロを取り除いて親水護岸の内側に封じこめて埋め立てる工事を行い、約13年の期間と485億円をかけて、1990年(平成2)に工事は終了し、58.2ヘクタール(東京ドーム約13.5個分)の広い埋立地ができました。今は、「エコパーク水俣」として、環境と健康をテーマにした緑豊かな公園に整備されています。



# 13 埋立工事後の水俣湾

【今の水俣の海は、どうなってるの？】

工事の終了後、水俣湾の魚に含まれる水銀はだんだん少なくなりしました。1997年（平成9）、熊本県は「水俣湾の魚介類は安全である」と宣言し、水俣湾の入り口に設置していた仕切網をすべて取りはらいました。

そして、漁業も再開され、市民が魚を釣って食べることもできるようになりました。今では、サンゴの生息が確認できるほど、きれいな海になっています。

今も、水俣湾の魚や海水に含まれる水銀について調査を続けていますが、安全であることが確認されています。



# 14 水銀に関する水俣条約

【どんな条約なの？ どうして「水俣」の名前がついているの？】

2013年（平成25）10月、水銀による健康被害と環境汚染を防ぐために、水銀の使用などを国際的に規制することを定めた「水銀に関する水俣条約」（水俣条約）が採択されました。採択とは、各国の代表者が集まって話し合い、国際条約の内容に合意し調印することです。水俣条約は水俣で開催された外交会議の中で、反対意見を出さず、全員同じ意見で採択され、92ヶ国（EU含む）が署名しました。

2017年（平成29）5月に、条約が効力を持つために必要な締約国数50ヶ国に達したため、同じ年の8月に発効されました。

## 水俣条約の内容

- 水銀を含む製品の製造の禁止
- 水銀の輸出入の制限
- 新しい鉱山からの水銀の産出禁止
- 水銀を含む廃棄物の適切な管理
- 発展途上国への技術や資金の支援 など



## ● おわりに ●

水俣病資料館で学んだことや、きれいな水俣の海のことを、どうか忘れないでください。

みなさんが幸せで、美しい環境が広がる未来を、皆さんの手でつくってほしいと思います。あなたはどんな未来をつくれますか？

地球規模で水銀汚染を防ぐために、世界中が協力して取り組む必要があるんだね。

また来てね

待ってるよ



2023年11月 水俣市立水俣病資料館作成